

宮崎県文化財調査報告書

第 30 集

昭和62年3月

宮崎県教育委員会

宮崎県文化財調査報告書

第 30 集

昭和62年3月

宮崎県教育委員会

序

このたび、宮崎県文化財調査報告書第30集を刊行することになりました。宮崎県教育委員会では文化財指定のための調査、あるいは農耕・開発工事等によって発見された遺跡についての緊急発掘調査の結果をまとめて、毎年報告書を刊行しております。

今回は、昭和57年度に調査を実施した三股町中米満遺跡の他、昭和61年度に調査した二遺跡の概略をまとめました。

また、戦後宮崎県教育委員会が発行しました文化財関係報告書の一覧もあわせて掲載いたします。

本書を、本県の歴史解明のための学術研究上の資料として役立てていただくとともに、社会教育・学校教育の場においても広く活用されることを期待いたします。

なお、調査に際して御協力いただいた地元の方々、および市町村教育委員会の方々に深甚の謝意を表します。

昭和62年3月

宮崎県教育委員会

教育長 船 木 哲

例 言

1. この報告は、宮崎県教育委員会が実施した埋蔵文化財緊急発掘調査報告である。
2. 掲載しているのは、中世の遺跡1件、および宮崎県教育委員会が発行した文化財調査報告書掲載項目一覧である。
3. 執筆者名・調査期日等は下記のとおりである。なお本書の編集は宮崎県教育庁文化課が担当した。

記

件	遺 跡 名	所在地	調 査 期 日	執 筆 者
1	中米満遺跡	二股町	昭和57年10月18日～10月26日	岩永哲夫

総 目 次

1. 中米満遺跡発掘調査 1
2. 林遺跡発掘調査概略 7
3. 水谷原遺跡発掘調査概略 10
4. 宮崎県教育委員会発行
文化財調査報告書掲載項目一覧 13
5. 昭和60・61年度埋蔵文化財発掘調査一覧 29
6. 昭和61年度宮崎県市町村発行埋蔵文化財調査報告書一覧 32

NAKA YONE MITSU

中 米 滿 遺 跡

例 言

1. 本報は、昭和57年10月18日から同月26日まで北諸県郡三股町大字樺山字宮田2833番地2において県教育委員会が実施した中米満遺跡発掘調査の報告である。
2. 本書の執筆・編集は宮崎県総合博物館埋蔵文化財センター主任岩永哲夫が行った。
3. 出土した資料は台帳登録のうえ、埋蔵文化財センターで保管している。
4. 土器の色調については、「新版標準土色帖」を使用した。

本文目次

1. 遺跡の所在地	1
2. 発掘調査に至る経緯	1
3. 調査の結果	1
4. ま と め	3

挿 図 目 次

第1図 遺跡位置図	1
第2図 発掘区図	2
第3図 発掘区土層図(西~東)	2
第4図 土師器実測図	3

表 目 次

表 土師器観察表	4
----------	---

図 版 目 次

図版 1	(1) 遺跡遠景	5
	(2) 発掘風景	5
図版 2	出土土器(土師器)	6



1. 遺跡の所在地

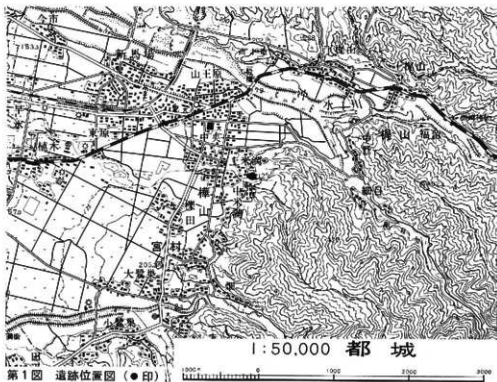
北諸県郡三股町大字榑山字宮田 2, 8 3 3 番地 2

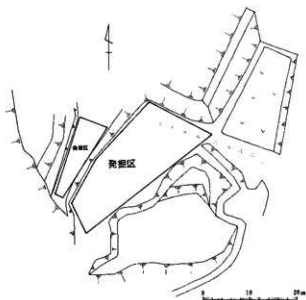
2. 発掘調査に至る経緯

宮崎県北諸県農林振興局の行う霧島南部広域農道建設工事の予定地内で、土器が出土したことから同地周辺に遺跡があることが判明した。遺跡地を残して他の部分の工事は進行中であり、現状保存は困難との見方から発掘調査の実施について文化課と北諸県農林振興局との間で協議が行われた結果、県教育委員会が調査主体者となり、昭和57年10月18日から発掘調査を実施することになった。

3. 調査の結果

調査は昭和57年10月18日から同月26日まで実施し、総合博物館埋蔵文化財センター主任主事岩永哲夫が担当した。この間、文化課主事菅付和樹の応援を得、三股町教育委員会の協力もいただいた。





第2図 発掘区図

まず、第2図に示した地区を対象として調査を行った。同地は近世墓地（既に移転済）、竹林、茶畑からなり、表土剥ぎに手間どったが、表土中から土師器片が多数出土した。

現地の土層状況は第3図のとおりで、急な傾斜を有した原地形であり、縄文早・前期層の存在も見られず、出土品も皆無であった。

出土遺物は攪乱された表土層から出土したものばかりである。縄文・弥生土器とみられるものもあるが、細片のためよくわからない。ほとんどは土師器の小皿・杯で、へら切り底・糸切り底混在の状態であった。

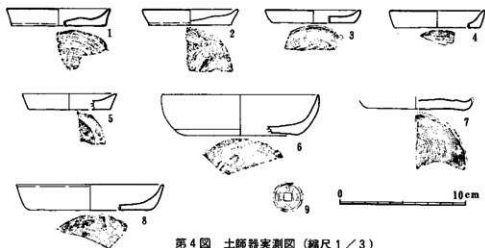
L. 207.1m



- | | |
|--------------|----------------------|
| I 表土 (灰黒色土層) | VII 青褐色土層 |
| I' 白色ボラ層 | VIII 黒褐色土層 |
| II 黒色土層 | IX 暗褐色土層 |
| III 強地ボラ層 | X 青灰色土層 |
| IV 黒褐色土層 | XI 黄褐色土層 (第2オレンジ?) |
| V アカホヤ | XII 暗褐色土層 (チョコレート粘質) |
| VI 青灰色土層 | XIII 白褐色土層 (白粘土) |

0 1 2m

第3図 発掘区土層図 (西～東)



第4図 土師器実測図（縮尺1/3）

土師器

詳細は土師器観察表を参照されたい。

小皿（1～5）

小皿は口径・底径・器高いずれも大きな差はなく、似ている。器形上、外反若しくは直立気味に立ち上がり、口縁部に至るもの（1・2・4・5）と底部と体部の境の稜があまく、内彎気味に立ち上がるもの（3）に分けられる。へら切り底である。

杯（6～8）

杯はへら切り底と糸切り底に分けられる。6・8は底部と体部の境界稜が緩やかで、内彎しながら口縁部に至る。端部は薄い仕上げである。器高に7mmの差があり日立つ程度である。7は糸切り底をもつが、底部片のみで全容はよくわからない。6・8よりやや小型とみられる。

4. まとめ

道路建設という性格から狭い範囲の発掘調査ですんだ。また、幸いにも遺構の存在はなく表土層に包含される土器類だけの発見であった。遺跡というには若干その要件を欠いているようにも考えられるが、近世墓の所在した地でもあり、周辺を含めた広い範囲での歴史的地域として膨らみながらも肌を感じるものがある。その意味では遺跡と言っても決して過言ではない今回の発掘地であった。また、周辺の畑地には縄文土器が断片的に散見されるし、分布調査によって各時期の遺跡が発見される可能性は極めて大きい。更に、この丘の東方には樺

表 土師器観察表

番号	器形	法 規 (cm)			色 調		胎 土	装 成	調 整			備考
		口 径	底 径	器 高	内 面	外 面			内 面	外 面	底 面	
1	小皿	8.1	7.4	1.4	焼 (5 Y R 6 / 6)	左に同じ	1ミリの砂粒を含む	良好	ヨコナテ	ヨコナテ	へう切り	
2	小皿	7.5	6.6	1.3	にぶい・焼 (7.5 Y R 7 / 4)	左に同じ	きめ細かい	良好	ナ デ	ナ デ	へう切り	
3	小皿	7.5	6.5	1.1	焼 (2.5 Y R 6 / 6)	左に同じ	0.5~1ミリの砂粒を含む	良好	ナ デ	ヨコナテ	へう切り	
4	小皿	7.5	6.8	1.4	にぶい・焼 (7.5 Y R 6 / 4)	左に同じ	きめ細かい	良好	ナ デ	ヨコナテ	へう切り	
5	小皿	7.4	6.5	1.2	焼 (7.5 Y R 7 / 6)	左に同じ	きめ細かい	良好	ヨコナテ	ヨコナテ	へう切り	
6	杯	12.5	8.9	3.3	焼 (5 Y R 7 / 6)	左に同じ	2~3ミリの砂粒を含む	良好	ヨコナテ	ヨコナテ	へう切り	
7	杯		7.9		にぶい・黄焼 (10 Y R 6 / 3)	左に同じ	きめ細かい	良好	ナ デ		糸切り	
8	杯	11.6	9.6	2.0	にぶい・黄焼 (10 Y R 7 / 4)	左に同じ	きめ細かい	良好	ヨコナテ	ヨコナテ	へう切り	

山城(頂上部に記念石碑あり)があったとされ、地形上から中世城に関連した出城的機能を有した館の存在も十分に考えられる所である。出土した土師器の時期は今の所明確に^{註2}し得ないが、この地域の中世の歴史的動向を知る新たな資料を得たことには間違いない。今後、樟山城の実態解明、城域の検討なども必要になってこよう。

註1. 墓地跡から「寛永通宝」1個を採集している(第4図9)。

註2. 宮崎における中世土師器の編年は緒についた段階であり、確立していないが、学園都市発掘調査を機に積極的な検討が図えられつつある。

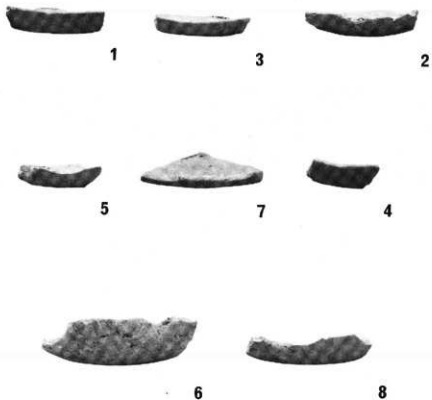


(1) 遺跡遠景 (正面)



(2) 発掘風景

図版
2
出土土器



番号は第4図土師器実測図の番号に同じ

HAYASI

林

遺 跡

MIZU YA BARU

水

谷

原

遺

跡

例 言

1. 宮崎県教育委員会では、昭和61年度発
行調査として、巻末掲載の一頁表のと
おりの調査を実施した。これはそのうち本
年度に概算が発行されない林道跡、水谷
原道跡についてその概略を掲載するもの
である。
2. 林道跡、水谷原道跡とも宮崎県文化課
上野 近穂 繁 が執筆した。

林 遺 跡

— 一般国道10号土々呂バイパス建設事に伴う発掘調査概略 —

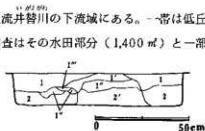
所 在 延岡市伊形町字林2627番外

林遺跡は延岡市土々呂町にあって、沖田川の一支流井替川の下流域にある。一帯は低丘陵に挟まれた水田地帯であり、昭和61年度分の発掘調査はその水田部分（1,400㎡）と一部畑地面（450㎡）について実施している。

水田面発掘区 発掘区の南端において、数条の小畦畔が検出された。畦畔は暗灰色グライ粘土層（Ⅳ層）に営まれ、ほぼ南北方向と東西方向に方向性を有して、その交差部も確認できている。畦畔幅は50cm内外の値を示し、断面はいわゆるカマボコ状を呈するものがある。

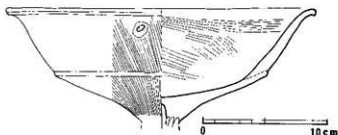
他は、上層圧迫、あるいはカットされて不明瞭なものが多い。旧水田分布域を確定するためにプラントオパール分析を実施しているが、その結果は発掘調査結果とはほぼ一致する値を示しており、一部では畑稲作の可能性も指摘されている。水田面出土遺物は陶磁器細片（備前播鉢・甕、唐津碗・皿、染付等）が主流を占め、その他須恵器、石鏝、チャート片がある。

畑地面発掘区 主要な遺構は竪穴住居址2軒（古墳時代）、掘立柱建物（2棟）、礎列（中近世）、土塼である。一号竪穴住居址からは3点の高環が重なり合った状態で出土している。礎列中からは備前の播鉢・甕、常滑の甕、東播系の播鉢、唐津の碗・皿、輸入陶磁器、染付碗等の陶磁器が出土しているが、染付のなかには肥前系に混じって地元の小峰、庵川窯製のものが含まれている可能性がある。陶磁器に混じって礎列中からはナイフ形石器、縦長剃片等の旧石器も出土し、当発掘区上段には旧石器包含層があるものと推定される。

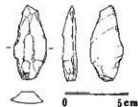


- | | | | |
|--------|----------------|-------|------------------|
| 1 層 | やぶ野の強い粘土層 | 2 層 | 砂質の強いグライ粘土層 (灰土) |
| 1' 層 | 1に對し、シルト質で粘り強い | 2' 層 | マンガン酸鉄のシミがある |
| 1'' 層 | やぶグライ化したもの | 2'' 層 | 2に對しシルト質で明灰色 |
| 1''' 層 | 原状の塊 | | |

1 図 南1区 畦畔断面実測図 (1/20)



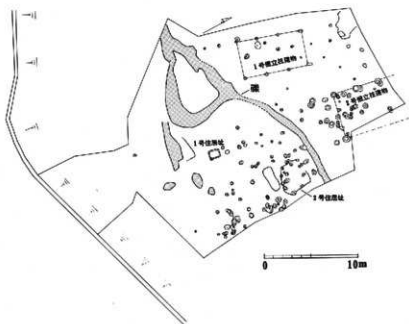
2 図 2号住居址出土高環実測図 (1/3)



3 図 林遺跡出土
ナイフ形石器 (1/3)



水田面精査風景



4 図 林道跡発掘区・遺構分布図 (1/400)



上段（畑地区）発掘区



高环出土状況

水谷原遺跡

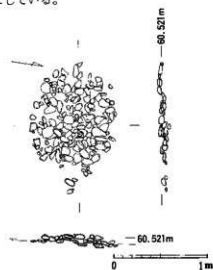
— 県道日置～南高鍋線道路改良工事に伴う発掘調査概略 —

所在 児湯郡高鍋町大字南高鍋水谷原 9105番地の他

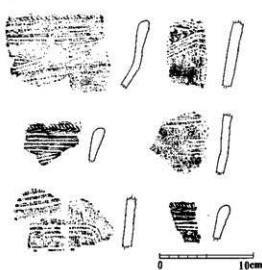
水谷原遺跡は児湯郡下に広がる洪積台地の北端部に位置し、約50mの標高がある。一帯は台地が徐々に落ち始める端部であって、眼下に高鍋町の町並が一望でき、小丸川の北には国指定史跡持田古墳群のある持田の台地も遠望される位置にある。

検出した遺構はアカホヤ火山灰の上面層（表土下約1m）で検出した溝状遺構、柱穴、土壇と、アカホヤ火山灰直下面で検出した集石遺構、土壇がある。溝状の遺構は埋土中に染付を含み近世のものである。Ⅲ層漆黒土層からはⅡ縁端部外面に刻目をもち、その直下が網部器壁に比して肥厚する板付Ⅱ式土器に比定される甕が出土している。赤ホヤ火山灰直下の暗褐色土層上からは6基の集石遺構が検出されているが、いずれも集石直下に掘り込みをもたないタイプで、そのうちの1基は丸礫を主体とするものであった（1図）。集石周辺の焼跡中からは押型文土器、塞ノ神式土器、石鏝、石皿、磨石、円盤状石器、剥片、黒曜石チップ、姫島産黒曜石チップ等が出土した。押型文土器はほんの2、3点出土したにすぎず、貝殻文土器等の一般に共存することの多い土器群も全く出土していない。

塞ノ神式土器はいわゆる椀ノ原タイプといわれる塞ノ神Ⅲ式を主体とするが、なかにはⅡ縁端が水溜状に肥厚する特徴的な口縁を有するものがあって、他遺跡出土のそれと様相を異にしている。



1図 集石遺構実測図（1/40）



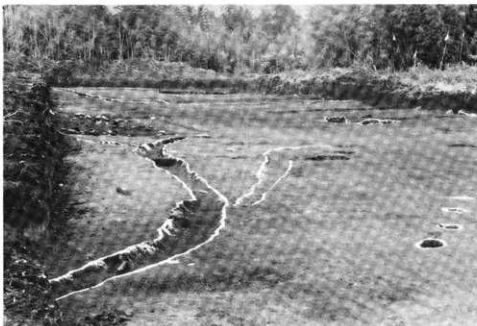
2図 塞ノ神式土器実測図（1/4）



発掘区（東→西）



6号集石遺構（縄文早期）



赤ホヤ上層で検出した溝状遺構



床面に深い小孔を2孔もつ土壇

宮崎県教育委員会発行文化財調査報告書掲載項目一覧

宮崎県文化財調査報告書

第1輯（昭和31年）

民俗資料

- 椎葉山村の民俗資料……東臼杵郡椎葉村大字尾向・不上野・松尾 田中熊雄
 東米良の民俗資料（狩猟用具）……児湯郡西米良村 日高正晴

郷土芸能

- 柚木野人形……西臼杵郡高千穂町
 依 踊……東諸県郡国富町大字本庄
 バラ太鼓踊……東諸県郡国富町
 神 事……西諸県郡高原町大字蒲牟田狭野
 神 楽……児湯郡西米良村大字銀鏡

植 物

- エヒメアヤメ自生南限地……小林市大字深草字馬鞍 平田正一
 鶴戸のヘゴ自生北限地……日南市鶴戸 平田正一
 祝子川のキンメイモウソウチク……東臼杵郡北川町大字川内名 平田正一
 白岩山石灰岩峯植物群落……西臼杵郡五ヶ瀬町及び東臼杵郡椎葉村 平田正一

第2輯（昭和32年）

建 造 物

- 那須家住宅（通称 鶴富屋敷）……東臼杵郡椎葉村下福良1818番地 椎葉村社会教育課

史 蹟

- 下弓田遺物包含地……串間市下弓田 石川恒太郎
 常心塚古墳……児湯郡西都市大字上三財字常心塚 西都市社会教育課

考古資料

- 石甕丁形鉄器……宮崎市吉村町江田原 石川恒太郎

天然記念物

- 郡井のハカマカズラ……串間市大字郡井字真光2,275の乙 平田正一
 宮崎県考古資料発見地名表 田中熊雄

第3輯 (昭和33年)

建 造 物

宮本家住宅一高千穂の民家一東臼杵郡高千穂町宮尾野668番地 八 幡 勇

史 跡

木崎原供養碑……西諸県郡飯野町大字池島字西郷田 石 川 恒太郎

埋蔵文化財

横穴古墳(高千穂町)……西臼杵郡高千穂町大字三田井字宮尾野一本木 柳 宏 吉

陣内縄文後・晩期遺跡(高千穂町)……西臼杵郡高千穂町大字三田井陣内卓迫 柳 宏 吉

川南町把言田遺跡……児湯郡川南町把言田 石 川 恒太郎

本庄高校校地内の遺跡調査録……東諸県郡國富町 田 中 熊 雄
吉 野 忠 行 ・ 鈴 木 重 治

第4輯 (昭和34年)

美 術 工 芸

口向の神像と仏像 丸 尾 彰三郎

埋蔵文化財

香禪寺遺跡……北諸県郡高城町人字石山 石 川 恒太郎

香禪寺古墳の出土品について 鈴 木 重 治

宮崎市極弥生期初期集落遺跡……宮崎市吉村町江田原 石 川 恒太郎

綾町尾立遺跡……東諸県郡綾町北俣字尾立 石 川 恒太郎

尾立の石器 鈴 木 重 治

第5輯 (昭和35年)

1. 串間市市木箱式石棺……串間市大字藤 石 川 恒太郎

2. 野尻町大灰地下式横穴……西諸県郡野尻町大字三ヶ野山字大灰 鈴 木 重 治

第6輯 (昭和36年)

1. 都於郡城について……西都市都於郡 石 川 恒太郎

2. 宮崎市村角出土の遺物……宮崎市村角 石 川 恒太郎

第7輯 (昭和37年)

都萬神社……西都市妻 日高正晴

第8輯 (昭和38年)

ギョボク自生北限地帯……日南市人字宮浦字櫛平3276番地 平田正一

第9輯 (昭和39年)

1. 小林市中山前遺跡……小林市大字細野字中山の前5696番の2 石川恒太郎

2. 小林市尾中原発見の地下式横穴……小林市尾中原 栗原文蔵

3. 飯野町のキンメイモウソウチク (金明孟宗竹)
……西諸県郡飯野町大河平字平藏野 平田正一

4. 大淀川上流のオオヨドガワゴロモ自生北限地帯……北諸県郡岩瀬川の内
平田正一・中山至大

第10集 (昭和40年)

延岡附近の遺跡……延岡市南方 浜田耕作・梅原末治

1. 角田内の遺跡

2. 大貫村の貝塚

三田井の遺跡 浜田耕作・梅原末治

1. 上原平の遺跡……西臼杵郡高千穂町大字三田井字上原平

2. 猿伏附近の遺跡……西臼杵郡高千穂町大字三田井字猿伏

3. 岩戸村其他にて既出土の土器

宮崎附近の遺跡 浜田耕作・梅原末治

1. 柏田直純寺の貝塚……宮崎市瓜生野柏田

2. 綾村尾立の遺跡……東諸県郡綾町字尾立

3. 加納の遺跡……清武町人字加納字下加納

各地に於ける古墳……延岡市内

第11輯 (昭和41年)

1. 飯野町大字上江字小木原の地下式古墳……西諸県郡飯野町大字上江字小木原
石川恒太郎

2. 木城村日了神社附近の遺跡……児湯郡木城町大字高城 石川恒太郎

3. 延岡市および北浦村のヤッコソウ発生地……延岡市熊之江町字丸田通山1741
平田正一

第12輯（昭和42年）

島之内地下式横穴（えびの市真幸）……えびの市大字島之内	栗原文藏
高城町牧ノ原発見の石棺……北諸県郡高城町	栗原文藏
川内湿原植物群落……児湯郡川南町 19403～19404	平田正一

第13輯（昭和43年）

宮崎市生月浮田横穴古墳……宮崎市大字浮田字照明院3232番地	石川恒太郎
国富町飯盛の地下式古墳……東諸県郡国富町大字須志田字飯盛	石川恒太郎

第14輯（昭和44年）

綾町地下式古墳……東諸県郡綾町大字入野字西反田	石川恒太郎
延岡市琴塚の箱式石棺……延岡市稲葉崎町塚山	石川恒太郎
えびの町平松の地下式古墳……西諸県郡えびの町大字島之内字平松	石川恒太郎
高崎町塚原地下式古墳……北諸県郡高崎町大字繩瀬字塚原	石川恒太郎
延岡市古川町剣抜石棺の遺物……延岡市古川町伊勢ノ前365番地	石川恒太郎
高千穂町吾平原横穴古墳……西臼杵郡高千穂町大字三田井字吾平原	石川恒太郎
高城町牧ノ原遺跡……北諸県郡高城町大字大井字牧ノ原	石川恒太郎
国富町本庄地下式第22号墳……東諸県郡国富町本庄	石川恒太郎
椎葉村松尾のイチョウ……東門杵郡椎葉村大字松尾 383 番地	平田正一

第15集（昭和45年）

天然記念物

椎葉村ト根川の大ヒノキ……東臼杵郡椎葉村大字ト福良字大久保	平田正一
五男山および国見岳温帯樹林……東臼杵郡椎葉村五男山及び国見	平田正一

埋蔵文化財

国富町大坪地下式古墳……東諸県郡国富町大字八代字大坪	石川恒太郎
高崎町城ノ前遺跡……北諸県郡高崎町大字牟田字原村字城ノ前	石川恒太郎
高崎町塚原地下式古墳……北諸県郡高崎町大字繩瀬字塚原	石川恒太郎
高鍋町光音寺横穴群……児湯郡高鍋町大字高鍋字光音寺	石川恒太郎
佐土原町袋横穴古墳……宮崎郡佐土原町広瀬	口高正晴
都城市平原地下式古墳……都城市大字下水流字平原	石川恒太郎
えびの町小木原地下式古墳……西諸県郡えびの町飯野字小原	石川恒太郎

- 高崎町飯屋尾地下式古墳……北諸県郡高崎町大字前田字飯屋尾 石川 恒太郎
 佐土原町総合農試弥生遺跡……宮崎郡佐土原町大字下那珂字城ヶ峰 石川 恒太郎

民俗芸能

山之口町籠部落

- 文弥節人形浄瑠璃 石川 恒太郎・日高 正晴

第16集 (昭和47年)

- 高原町縄文期包含層……西諸県郡高原町大字広原 石川 恒太郎
 佐土原町総合農試東横穴古墳……宮崎郡佐土原町大字下那珂字城ヶ峰
 石川 恒太郎・田中 茂
 高鍋町牛牧弥生期住居跡……児湯郡高鍋町牛牧 石川 恒太郎
 宮崎市下北方町地下式古墳……宮崎市下北方町字塚原 石川 恒太郎
 西臼杵郡高千穂町横穴古墳……西臼杵郡高千穂町大字岩戸字桑水流 石川 恒太郎
 西臼杵郡高千穂町奥鶴の箱式石棺
 ……西臼杵郡高千穂町大字川内字奥鶴 石川 恒太郎
 延岡市友内山箱式石棺……延岡市無鹿町友内山 石川 恒太郎
 高崎町横尾地下式古墳……北諸県郡高崎町大字繩瀬字横尾 石川 恒太郎
 串間市徳山地下式古墳……串間市大字大平字徳山 石川 恒太郎
 高千穂町山原字染野平横穴古墳
 ……西臼杵郡高千穂町大字山原字染野平 石川 恒太郎
 高崎町繩瀬小学校校庭の地下式古墳……北諸県郡高崎町大字繩瀬
 えびの市島之内の地下式古墳……えびの市大字島之内字平松 石川 恒太郎
 延岡市大貫遺跡……延岡市大貫町 石川 恒太郎
 日向市平岩小学校前の古墳……日向市平岩 石川 恒太郎

第17集 (昭和48年)

- 高岡町久木野地下式古墳……東諸県郡高岡町大字浦之名字久木野 石川 恒太郎
 田野町灰ヶ野地下式古墳……宮崎郡田野町灰ヶ野 石川 恒太郎
 高鍋町光吉寺横穴……児湯郡高鍋町北高鍋字光吉寺 石川 恒太郎
 高原町湯ノ崎地下式古墳
 ……西諸県郡高原町大字西麓字湯ノ崎3471の65 石川 恒太郎

第18集 (昭和51年)

天然記念物

綾町竹野のホルトノキ……東諸県郡綾町大字北俣字竹野3255 平 田 正 一

埋蔵文化財

郡農町岩山遺跡……児湯郡郡農町字岩山 石 川 恒太郎

高鍋町水谷原古墳……児湯郡高鍋町大字南高鍋字水谷原 石 川 恒太郎

佐土原町川添遺跡……宮崎郡佐土原町大字下那珂字川添 石 川 恒太郎

高崎町原村上地下式横穴

……北諸県郡高崎町大字繩瀬字原村上1661の1番地 岩 永 哲 夫

えびの市灰塚遺跡……えびの市大字西長江浦字西城 岩 永 哲 夫

第19集 (昭和51年)

旭台地下式古墳群……西諸県郡高原町大字広原旭台6083—19 石 川 恒太郎

日 高 正 晴 ・ 岩 永 哲 夫

下水流地下式墳……都城市下水流町築池 日 高 正 晴

横谷原村地下式墳……北諸県郡高崎町横谷原村 日 高 正 晴

第20集 (昭和53年)

小峰町荒田遺跡発掘調査……延岡市小峰町7630番地 石 川 恒太郎

吹上地下式古墳発掘調査……東諸県郡岡高町大字八代北俣吹上3190番地

日 高 正 晴 ・ 岩 永 哲 夫

切畑地下式古墳発掘調査

……西諸県郡野尻町大字東籠字切畑小字尾ヶ平 石 川 恒太郎

新田場地下式古墳発掘調査……小林市大字真方5498番地 岩 永 哲 夫

雀ヶ野地下式古墳発掘調査……北諸県郡高城町大字四家408番地 岩 永 哲 夫

牧ノ原箱式石棺発掘調査……北諸県郡高城町大字大井手3481番地の1

石 川 恒太郎 ・ 岩 永 哲 夫

平松地下式古墳発掘調査……えびの市大字島内平松1135番地 岩 永 哲 夫

築池地下式古墳発掘調査……都城市下水流町築池2579番地

岩 永 哲 夫 ・ 田ノ上 哲

第21集（昭和54年）

天然記念物

- 延岡市および北湖町のヤッコソウ発生地調査 平田正一
 鬼の目山のツチビノキ自生原始林調査……東臼杵郡北方町上鹿川 平田正一

埋蔵文化財

- 丸山石棺群発掘調査 石川恒太郎
 ……西臼杵郡高千穂町大字河内字丸山745番地 内藤芳篤
 赤木箱式石棺発掘調査……延岡市舞野町1477番地 岩永哲夫
 鳥の巣箱式石棺発掘調査 岩永哲夫
 ……東臼杵郡西郷村大字山三ヶ鳥の巣1464番地
 祝子園地下式古墳発掘調査 田ノ上哲
 ……東諸県郡岡富町大字木庄2098の1番地 岩永哲夫
 築池地下式古墳発掘調査 岩永哲夫
 ……都城市下水流町築池2576の3番地 北郷泰道

第22集（昭和55年）

- 熊野江積石塚第6号発掘調査……延岡市大字熊野江2,453 石川恒太郎
 内藤芳篤・分部哲秋
 飯盛地下式横穴53-1号発掘調査 面高哲郎
 ……東諸県郡岡富町大字須志田飯盛 岩永哲夫
 大萩地下式横穴36号発掘調査 茂山護
 ……西諸県郡野尻町大字三ヶ野山大萩
 日守地下式横穴（古墳）54-1～4号発掘調査 茂山護
 ……西諸県郡高原町大字後川内1の119 面高哲郎
 上示野原遺跡発掘調査 岩永哲夫
 ……北諸県高崎町大字大牟田上示野原 茂山護
 石川恒太郎
 岩永哲夫
 平松地下式古墳54-1号発掘調査……えびの市大字島内字平松1135 北郷泰道
 平松地下式古墳54-2～4号発掘調査 北郷泰道
 ……えびの市大字島内字平松1135 岩永哲夫

第23集 (昭和56年)

- | | |
|--|---------|
| 南平橋穴墓群発掘調査……西臼杵郡高千穂町大字押方字南平1293 | 北 郷 泰 道 |
| 土器田横穴墓群1～3号発掘調査……宮崎郡佐土原町大字下那珂
土器田 12783—16, 12797—2 | 石 川 恒太郎 |
| 上ノ原地下式古墳群1～10号発掘調査……西諸県郡須木村大字中
原字上ノ原1754—1 | 岩 永 哲 夫 |
| 日守地下式古墳群55—1～4号発掘調査 | 岩 永 哲 夫 |
| ……西諸県郡高原町大字後川内1—118, 302 | 北 郷 泰 道 |
| 上沖遺跡発掘調査……北諸県郡三股町大字権山字上沖4332—6 | 北 郷 泰 道 |

第24集 (昭和56年)

埋蔵文化財

- | | |
|------------------------------|---------|
| 内原敷地下式横穴発掘調査 | 面 高 哲 郎 |
| ……東諸県郡綾町大字南俣字内原敷2610番地 | |
| 高野原地下式1号墳発掘調査 | H 高 正 晴 |
| ……宮崎郡田野町高野原甲13124—1番地 | |
| 下の平地地下式横穴発掘調査 | 北 郷 泰 道 |
| ……小林市大字水流迫字下の平179—3番地 | |
| 日守地下式古墳群確認調査 | 岩 永 哲 夫 |
| ……西諸県郡高原町大字後川内1—118番地 | |
| 梯遺跡発掘調査……西諸県郡野尻町大字東麓440—36番地 | 面 高 哲 郎 |
| 上ノ原地下式古墳群発掘調査一人骨編一 | 松 下 孝 幸 |
| ……西諸県郡須木村大字中原字上ノ原1754番地1 | 分 部 哲 秋 |

第25集 (昭和57年)

- | | |
|---------------|-------|
| 定善寺文書……H向市財光寺 | 深 武 人 |
|---------------|-------|

第26集 (昭和58年)

- | | |
|------------------------------|---------|
| 延岡市葛田窯跡……延岡市行徳町古野 | 小 田 富士雄 |
| 柏ノ木遺跡発掘調査報告……北諸県郡高崎町大字大牟田柏ノ木 | 岩 永 哲 夫 |
| 北追遺跡発掘調査報告……北諸県郡高崎町大字大牟田字北追 | 面 高 哲 郎 |
| 前平地区遺跡発掘調査報告……宮崎郡田野町字芳ヶ迫 | 面 高 哲 郎 |
| | 長 津 宗 重 |

旭台地下式横穴群発掘調査報告……西諸県郡高原町大字広原旭台 松下 孝 幸
分 部 哲 秋 ・ 野 田 耕 一

第27集 (昭和59年)

大萩地下式横穴墓群……遺構編 岩永哲夫・北郷泰道・茂山 護
人骨編 松下 孝 幸

第28集 (昭和60年)

天然記念物
綾のイチイガシ調査……東諸県郡綾町大字北仮2610番地の4 平田 正 一

埋蔵文化財

大萩地下式横穴37号墓……西諸県郡野尻町大字三ヶ野山 茂山 護
中ノ迫A遺跡……児湯郡川南町大字川南1,170番地の293の2 岩永哲夫
東ノ原1号地下式横穴……東諸県郡岡富町大字本庄字東ノ原 岩永哲夫

第29集 (昭和61年)

埋蔵文化財

東平下1号円形周溝墓……児湯郡川南町大字川南19049番地 日高 正 晴
岩永哲夫
九塚地下式横穴墓群…西諸県郡野尻町大字東麓2514 62528-2 北郷泰道
石神遺跡……宮崎市山崎町下原975-1番地 近藤 協

日向遺跡調査報告書

第1輯 (昭和27年)

下北方古墳……宮崎市下北方 日高 重孝・吉野 忠行
宮崎県古墳地名表 鏡山 猛・石川恒太郎

第2輯 (昭和30年)

銭亀塚……南郷珂郡福島町大字西方字善田原 日高 重孝・吉野 忠行
鏡山 猛・石川恒太郎
王子谷遺跡…… “ 大字穂佐原 鏡山 猛・石川恒太郎
新畑洞穴……西臼杵郡日影町大字七折 石川恒太郎
大溜遺跡…… “ “ “ 字大溜 石川恒太郎
鈴鏡塚……日向市富高字草場 日高 重孝・鏡山 猛
石川恒太郎

日向遺跡総合調査報告

第1輯 (昭和36年)

下弓田遺跡……串間市下弓田

石川恒太郎・遠藤 尚
賀川 光夫・鈴木 重治
酒詰 伸男・鏡山 猛

第2輯 (昭和37年)

陣内遺跡……西臼杵郡高千穂町

鈴木 重治・賀川 光夫

第3輯 (昭和38年)

岡分寺跡……西都市妻町三宅

鏡山 猛・小山富士雄
大川 清・藏久 嗣郎

第二次日向遺跡総合調査

第二、三輯 (昭和42年)

貝ノ畑遺跡……延岡市貝ノ畑

石川恒太郎

持田遺跡……児湯郡高鍋町持田

石川恒太郎

持田古墳群 (昭和44年)

佐土原中溝遺跡調査報告書 (昭和47年)

中溝遺跡……宮崎郡佐土原町大字下那珂字中溝

石川恒太郎

九州縦貫自動車道埋蔵文化財調査報告

(1) (昭和48年)

小木原遺跡……えびの市

石川恒太郎

小木原古墳……えびの市

口高 正晴

地下式A号墳……えびの市

日高 正晴

久見迫遺跡……えびの市

石川恒太郎

馬頭遺跡……えびの市

石川恒太郎

こまくりげ遺跡……小林市大字細野

田中 茂

平木場遺跡……小林市大字南西方字平木場

安楽 勉

竹山遺跡……小林市大字細野字竹山

茂山 護

鷹巣原遺跡……西諸県郡高原町広原

田中 茂

立山遺跡……西諸県郡高原町大字西麓字立山

茂山 護

(2) (昭和49年)

灰塚遺跡……えびの市大字西長江浦字西城

石川恒太郎・田中 茂
茂山 護・安楽 勉
野間 重孝・内藤 万寿

(3) (昭和55年)

烏井原遺跡……北諾県郡高崎町

岩永 哲夫

上所迫遺跡…… ”

野間 重孝

栗渠上原遺跡…… ”

茂山 護

下原遺跡…… ”

茂山 護

今村遺跡…… ”

茂山 護

牛谷遺跡……北諾県郡山田町

茂山 護

丸谷第2遺跡……郡城市

茂山 護

丸谷第1遺跡…… ”

面高 哲郎

黒草遺跡……宮崎郡山野町

北郷 泰道

小原遺跡……宮崎郡清武町

面高 哲郎

城内遺跡…… ”

石川恒太郎・面高 哲郎

前畑遺跡……えびの市

遠藤 尚・北郷 泰道

特殊農地保全整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告

大萩遺跡(1) (昭和50年) ……西諾県郡野尻町三ヶ野山

石川恒太郎・日高 正晴
田中 茂・茂山 護
岩永 哲夫

大萩遺跡(2) (昭和51年) ……西諾県郡野尻町三ヶ野山

石川恒太郎・日高 正晴
田中 茂・茂山 護
野間 重孝・面高 哲郎

柿川内第1, 第2遺跡 (昭和53年)

石川恒太郎

……西諾県郡野尻町三ヶ野山

野間 重孝

上別府遺跡 (昭和55年) ……児湯郡高鍋町大字持田

日高 正晴・田中 熊雄
田ノ上 哲・渡辺 康隆
永友 良典・大塚 誠

宮崎学園都市埋蔵文化財発掘調査概報

(I) (昭和56年) (1980)

- | | |
|---------------------------|-------|
| 入料遺跡……宮崎郡清武町大字木原字入料4136-1 | 岩永 哲夫 |
| 堂地東遺跡……宮崎市大字熊野字堂地7708-15他 | 北郷 泰道 |

(II) (昭和57年) (1981)

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 赤坂遺跡……宮崎郡清武町字赤坂4554 | 岩永 哲夫・面高 哲郎 |
| 熊野原遺跡……宮崎市大字熊野字熊野以8085-1他 | 菅付 和樹 |
| 前原西遺跡……宮崎市大字熊野字前原8382 | 石川 悦雄・北郷 泰道 |
| 前原北遺跡……宮崎市大字熊野字前原8729他 | 永友 良典・石川 悦雄 |
| 山内石塔群……宮崎郡清武町大字木原字山内4293 | 北郷 泰道 |

(III) (昭和58年) (1982)

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 平畑遺跡……宮崎市大字熊野字平畑221他 | 北郷 泰道 |
| 堂地東遺跡……宮崎市大字熊野字堂地7708-15他 | 長津 宗重・日高 孝治 |
| 熊野原遺跡……宮崎市大字熊野字熊野原8085-1他 | 菅付 和樹 |
| 前原西遺跡……宮崎市大字熊野字前原8382 | 岩永 哲夫・面高 哲郎 |
| 前原南遺跡……宮崎市大字熊野字前原8542 | 永友 良典・谷口 武範 |

(IV) (昭和59年) (1983)

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 浦田遺跡……宮崎郡清武町大字木原字浦田4054 | 谷口 武範 |
| 堂地西遺跡……宮崎市大字熊野字堂地7497-43他 | 永友 良典・日高 孝治 |
| 平畑遺跡……宮崎市大字熊野字平畑221他 | 北郷 泰道・菅付 和樹 |
| 堂地東遺跡……宮崎市大字熊野字堂地7708-15他 | 岩永 哲夫・長津 宗重 |
| 熊野原遺跡……宮崎市大字熊野字熊野原8085-1他 | 面高 哲郎・谷口 武範 |
| 前原南遺跡……宮崎市大字熊野字前原8542 | 永友 良典 |

(V) (昭和61年) (1985)

- | | |
|------------------------|-------|
| 前原北遺跡……宮崎市大字熊野字前原8729他 | 北郷 泰道 |
| 今江城跡……宮崎市大字熊野 | 谷口 武範 |

宮崎学園都市埋蔵文化財発掘調査報告書

第1集（昭和59年）（1984）

山内石塔群……宮崎郡清武町大字木原字山内4293

岩永 哲夫・面高 哲郎
永友 良典・長津 宗甫
北郷 泰道・菅付 和樹
口高 孝治・谷口 武範

第2集（昭和60年）（1985）

浦田遺跡……宮崎郡清武町大字木原字浦田4054

谷口 武範

入料遺跡……宮崎郡清武町大字木原字入料4136-1

北郷 泰道

堂地西遺跡……宮崎市大字熊野字堂地7497-43他

永友 良典

平畑遺跡……宮崎市大字熊野字平畑221

北郷 泰道・菅付 和樹
日高 孝治

堂地東遺跡……宮崎市大字熊野字堂地7708-15他

長津 宗重・日高 孝治

熊野原遺跡……宮崎市大字熊野字熊野原8085-1他

面高 哲郎

第3集（昭和60年）（1985）

下田畑遺跡……宮崎郡清武町大字木原字下田畑4950他

北郷 泰道・口高 孝治

小山尻東遺跡……宮崎郡清武町大字木原字小山尻3597

長津 宗重・近藤 協

田上遺跡……宮崎郡清武町大字木原3882-1他

谷口 武範・菅付 和樹

赤坂遺跡……宮崎郡清武町大字木原字赤坂4554

面高 哲郎

小山尻西遺跡……宮崎郡清武町大字木原字小山尻3596

近藤 協

河川改修事業に伴う埋蔵文化財調査報告書

保木下遺跡（昭和61年）……宮崎市大字島之内字保木下

面高 哲郎・近藤 協

県道改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

穂北尾畑遺跡（昭和61年）……西都市大字穂北尾畑・大木原

永友 良典

県北地区の美術工芸品 第一集（昭和39年）

県中 “ 第二集（昭和40年）

県南 “ 第三集（昭和40年）

- (1) 内 容 県内の社寺を中心に民家まで美術工芸品を探究し、その格付を行って保存措置を講ずることを目的として昭和39年から3ヶ年計画で実施したもの。
- (2) 調査員 倉田 文作（文化庁）、田辺三郎助（文化庁）、尾崎 元春（文化庁）
郷家 忠臣（文化庁）、田山 信郎（文化庁）、伊藤 延男（文化庁）

民俗資料緊急調査報告書（昭和46年）

- (1) 内 容 国鉄高千穂線開通に伴ない高千穂地方の習俗、民間伝承、山村生活用具等について国庫補助により県教育委員会が昭和47年現地において、採録または調査した内容を収録したもの。
- (2) 関係者（調査員） 祝宮 静（名城大学教授）、田中 熊雄（宮崎大学教授）
日高 正晴（県文化財専門委員）、沢 茂人（県総合博物館）
田中 茂（県総合博物館）

宮崎県郷土文化財総合調査報告書（昭和47年）

- (1) 内 容 昭和42年度、県内各地に残っている中世から近世までの絵画、彫刻、工芸品、建造物等の調査結果を収録したもの。
- (2) 調査員 田辺三郎助（文化庁）、郷家 忠臣（文化庁）、
伊藤 延男（奈良国立文化財研究所）

宮崎県の民家（昭和48年）

- (1) 内 容 100年以上経過した宮崎県内の民家74棟について緊急調査をおこない、今後の民家保存あるいは、民家研究の資料として活用する目的で収録したもの。
- (2) 調査員 伊藤 延男（奈良国立文化財研究所）、宮沢 仁（奈良国立文化財研究所）
細見 啓之（奈良国立文化財研究所）、宮本長二郎（奈良国立文化財研究所）
村上 諒一（奈良国立文化財研究所）

大光寺文書目録（昭和49年）

- (1) 内 容 昭和48年度、国庫補助を受けて大光寺に所蔵されている大光寺文書を調査したもの。

古文書所在確認調査報告書（昭和51年）

- (1) 内容 県内に所在する古文書、古典籍類を対象にどこにどのような古文書類が所在するかを調査して収録したもの。
- (2) 調査員 石川恒太郎、石川 正雄、飯田 達夫、西川 功、野口逸三郎
肥田木重文、 他 補助調査員 61名

宮崎県民俗地図（昭和53年）

- (1) 内容 昭和51年から52年にかけて県下150カ所の地区を選定し、民俗文化財のすべての分野にわたって聞きとり調査した内容を収録したもの。
- (2) 調査委員 沢 茂人（県総合博物館）、泉 房子（県総合博物館）
他 延 150名の現地調査員

宮崎県「歴史の道」調査報告書（昭和54年・55年）

- (1) 内容 街道の特色、歴史、様子、及び街道沿いの文化財や遺跡の解説及び街道地図
- (2) 関係者
報告書監修 石川恒太郎
調査員
○薩摩街道……久枝 敏、阿万 敬一、児玉 三郎、田上 末雄
○肥後街道……真方 良徳、井上 改造、國田 隆、加藤 宣夫
○諸塚街道……甲斐 重光、深水 洋
○米良街道……青山 幹雄、安藤 徳英
○妖肥街道……久枝 敏、川崎 満也
○鶴戸街道……棚山 隆介、堀内 和雄
○志布志街道……前田 博仁、井手 義徳

特別天然記念物カモシカに関する調査報告書Ⅰ（昭和55年）

- (1) 内容 昭和52年度から54年度にかけて、祖母、傾、大崩山一帯及び熊本県境の市房山を中心にカモシカの生息状況、生息頭数等の基礎データを収録したもの。
- (2) 関係者
調査団長 （九州大学） 小野 勇一 教授
副 団 長 （宮崎大学） 岩本 俊孝 助教授
そ の 他 九州大学・宮崎大学関係者

宮崎県の民謡（付宮崎県の民謡文献集）（昭和56年）

- (1) 内 容 昭和54年度から55年にかけて国の補助を受けて調査員60名により、県内に古くから歌われている労作歌、祝い歌、踊り歌など500曲を収録したもの。
- (2) 関係者（調査委員） 有川 綱彦、奈須 稔、石川恒太郎、原田 解
片山 謙二、松永 建、止入木久男、柳山 昭、高橋 政秋、
垣内 幸夫、鳥集 忠男、川添 益男
他に現地調査員 60名

特別天然記念物カモシカに関する調査報告書Ⅱ（昭和56年）

- (1) 内 容 白岩山一帯、尾鈴山一帯を第1集にひきつづき調査し収録したもの。
- (2) 関係者
調査団長（九州大学） 小野 勇一 教授
副 団 長（宮崎大学） 岩本 俊季 助教授
その 他 九州大学・宮崎大学関係者

宮崎県の近世社寺建築（昭和57年）

- (1) 内 容 県内各地の神社及び寺院の創建年代や、再建の年代や改造等について、建築史の専門による調査内容を収録したもの。
- (2) 関係者（調査員） 沢村 仁（九州芸術工科大学）、佐藤 正彦（九州産業大学）
角田 三郎（京文化財保護審議会委員）、徳永 孝一（県総合博物館）

宮崎県の方言調査報告書（昭和60年）

- (1) 内 容 県内5ヶ所を選定し、方言の録音採集を行い文字化したものである。
 - ① 老年層話者による会話
 - ② 老年層と若年層との会話
 - ③ 目上の者と目下の者の会話
 - ④ 場面設定による会話
 - ⑤ 当該地区に伝わる民話
- (2) 調査地 宮崎市青島、延岡市大貫、日南市妖祀、山田町、椎葉村
- (3) 関係者（調査員） 比江島修一、志城 澄幸、中尾 光広、川越喜美子、金子 正也
和田 良平、上原 蔵、波津久 忠、楠元 正洋、黒木八重子、
永吉敏一郎

(村) 昭和60・61年度埋蔵文化財発掘調査一覧

(昭和62年2月 現在)

番号	遺跡名	所在地	発掘調査口	調査主体	調査員	遺構・遺物	備考
1	下別府遺跡	宮崎市吉村町 字下別府甲 4057～2番	61. 1. 14 } 61. 1. 22	県教委	長津宗重 永友良典	一字一石硯石	
		兄湯郡新富町 大字三納代 字薩田	61. 3. 3 } 61. 3. 25				
3	新田場地下式 横穴墓	小林市人字真方 字松之元 5632-8	61. 3. 5 } 61. 3. 7	小林市教委	面高哲郎 長津宗重	剣・鉄鏃・鍬先 鎌・鉈・刀子・ 釣針・直刀	
			県教委	日高孝治			
4	小町遺跡	宮崎郡佐土原町 大字下那珂 8316番地他	61. 3. 17 } 61. 3. 20	県教委	北郷泰道	土師器	確認 調査
5	陣ノ内遺跡	宮崎市人字熊野	61. 4. 14 } 61. 10. 31	県教委	永友良典 菅村和樹	堅穴住居址・竪立柱 礎物・土師・瓦石遺 構・陶磁器・古銭・ 須恵器・縄文土器・ 弥生土器・内黒土器 布目土器	
6	林道遺跡	延岡市伊形町 字林2527番外	61. 4. 14 } 61. 6. 19	県教委	北郷泰道 近藤 協	水田址・竪立柱 礎物・旧石器・ 弥生土器・須恵 器・陶磁器	
7	丸野第2遺跡	宮崎郡田野町赤 松乙3887-2外	61. 5. 6 } 61. 9. 30	田野町 教育委員会	長津宗重	堅穴住居・土壇 ・縄文土器・弥 生土器・石器	
8	舟人遺跡	日向市大字平岩 字元市419番地 1他	61. 5. 12 } 61. 5. 24	日向市 教育委員会	緒方博文	縄文土器・弥生 土器・土師器・ 陶磁器・石鏃	
9	上勢西遺跡	北諸郡高崎町 人字大牟田字大 丸556番地1他	61. 6. 2 } 61. 6. 13	県教委	面高哲郎	縄文土器	確認 調査
10	多々羅遺跡	延岡市野町多 々羅1487-200	61. 6. 4 } 61. 6. 6	延岡市 教育委員会	近藤 協	箱式石棺	
11	麗七原遺跡	西諸郡須木村 人字下田 519番地	61. 6. 18 } 61. 6. 20	須木村 教育委員会	面高哲郎	土師器・青磁 白磁	

番号	遺跡名	所在地	発掘調査日	調査主体	調査員	遺構・遺物	備考
12	園田遺跡	児湯郡新富町 大字三納代 2188番地	61. 6. 21 § 61. 7. 20	新富町 教育委員会	有田辰美		
13	串木横穴	西都市人字種北 2004番地	61. 6. 23 § 61. 7. 3	西都市 教育委員会	日高正晴		
14	小町遺跡	宮崎県佐土原町 大字上野河 字小野	61. 7. 3 § 61. 7. 25	県教委	西高哲郎	土師器・陶磁器 柱穴	
15	船塚遺跡	宮崎中船塚町 3丁目210番地	61. 7. 10 § 61. 8. 13	県教委	北郷泰道	埴輪片・土師器 陶磁器	
16	水谷原遺跡	児湯郡高鍋町大 字南高鍋水谷原 9105番地外	61. 7. 10 § 61. 10. 15	県教委	近藤 協	築石遺構・土壇 縄文土器・弥生 土器・石器	
17	樞遺跡	宮崎市吉村町 江州原甲 265	61. 7. 21 § 61. 7. 25	宮崎市 教育委員会	野間重孝	なし	確認 調査
18	三ヶ所村 古墳 2 号	五ヶ瀬町大字 桑野内字小平田 2600番地イ	61. 7. 28 § 61. 8. 2	県教委	水友良典	なし	確認 調査
19	松本遺跡	西都市大字三納 1124番地外	61. 7. 28 § 61. 9. 27	西都市 教育委員会	日高正晴	古墳・埴輪 木製農具	
20	西教・東教 遺跡	児湯郡新富町 大字日置4487他	61. 8. 4 § 61. 8. 8	県教委	西高哲郎	縄文土器 弥生土器	確認 調査
21	久玉遺跡	郡城市郡元町 54-5 他	61. 8. 4 § 61. 9. 30	郡城市 教育委員会	寺師雄二	弥生土器 土師器・須恵器	
22	平畑遺跡	宮崎市大字熊野 7710番地	61. 8. 11 § 61. 10. 3	宮崎大学	西高哲郎	縄文土器	

番号	遺跡名	所在地	発掘調査日	調査主体	調査員	遺構・遺物	備考
23	車坂城址	宮崎市大字熊野	61. 9. 1) 61. 11. 20	県教委	永友良典 菅付和樹	中世山城・空堀 掘立柱建物 土壊・土師器 陶磁器・古銭	
24	城ヶ尾遺跡	北諸県郡高城町 大字石山字城ヶ尾4474 大字藤原坊字山越235-1	61. 9. 18) 61. 9. 22	高城町 教育委員会	北郷泰道	土師器・陶磁器	
25	田谷遺跡	都城市南横市 3888-1	61. 9. 22) 61. 9. 26	都城市 教育委員会	久部喜多夫	土器・磨製石鏃	確認 調査
26	永田原遺跡	えびの市大字 七江字永田原他	61. 10. 28) 62. 1. 31	えびの市 教育委員会	谷口武範	竪穴住居址・溝 状遺構・弥生土 器・須恵器・陶 磁器・石器	
27	東城原第1～3 遺跡	西諸県郡野尻町 大字紙屋597～ 2番地他	61. 10. 6) 61. 12. 20	野尻町 教育委員会	北郷泰道	縄文土器 細石杖・細石刃 石鏃	
28	高原町古墳	西諸県郡高原町 大字蒲牟田 字狭野3～115	61. 10. 6) 61. 10. 8	高原町 教育委員会	長津宗重	遺物なし	確認 調査
29	赤松遺跡	東臼杵郡東郷町 大字山陰成151 番地の1、他1	61. 10. 28) 61. 12. 2	東郷町 教育委員会	近藤 協	掘立柱建物・土 壊・柱穴群・縄 文土器・弥生土 器・石器	
30	猪ノ椋遺跡	串間市大字奈留 猪ノ椋3440～21 他	61. 11. 4) 62. 2. 6	串間市 教育委員会	長津宗重	集石遺構・溝状 遺構・縄文土器 土師器・石器	
31	七園遺跡	児湯郡新富町 大字日置4487他	61. 11. 15) 62. 2. 24	新富町 教育委員会	有田辰美	竪穴住居址・掘立 柱建物址・土壊 土師器・須恵器・ 石鏃・鉄製品	
32	松添遺跡	宮崎市大字折生 迫字下着方426 番地他	60. 11. 18) 60. 12. 20	宮崎市 教育委員会	伊東 勉	縄文土器 土師器・須恵器 石器	
33	園田遺跡	児湯郡新富町 大字富田字園田	61. 11. 13) 62. 1. 30	県教委	永友良典	竪穴住居址 弥生土器・石器	

番号	遺跡名	所在地	発掘調査日	調査主体	調査員	遺構・遺物	備考
34	下水流第2遺跡	東臼杵郡東郷町 大字山陰	61.12.2 5 62.1.31	東郷町 教育委員会	近藤 協	縄文土器 弥生土器・石器	
35	原村上地下式 横穴墓	北諸県郡高崎町 大字縄瀬1702 -1番地	61.12.9 5 61.12.12	高崎町 教育委員会	山高哲郎	人骨2体・刀子	
36	埴谷地下式 横穴墓	東諸県郡国富町 大字深年字埴谷 3510~2	61.12.16 5 61.12.18	国富町 教育委員会	山高哲郎	人骨1体 土師器	

昭和61年度 宮崎県市町村発行埋蔵文化財調査報告書一覧

番号	書名	遺跡名(ふりがな)	時代	種類		発行機関
				種類	種類	
1	都城市文化財調査報告書 第4集	菓子野(かしの)地下式横穴 築池(ちくじ)地下式横穴	古墳	地下式 古墳		都城市教委
2	川南町文化財調査報告4 上ノ原遺跡	上ノ原(かみのはる)遺跡	縄文	集	高	川南町教委
3	野尻町文化財調査報告書 第1集	新村(しんむら)遺跡 高山(たかやま)遺跡	先土器 縄文	築石遺構		野尻町教委
4	妻道南遺跡発掘調査報告書	妻道南(つまみちみなる)遺跡	先土器 縄文	築石遺構		高鍋町教委
5	蓮ヶ池横穴群保存整備事業概報1	蓮ヶ池(はすかいけ)横穴群	古墳	古墳		宮崎市教委
6	別府遺跡発掘調査報告書	別府(びゅう)遺跡	近代	近世 石敷遺跡		日向市教委

番号	書名	遺跡名(ふりがな)	時代	種類	発行機関
7	亀崎上地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書 後陣遺跡・越シ遺跡	後陣(ごじん)遺跡 越シ(こし)遺跡	先上器 縄文 弥生	集落	宮崎市教委
8	西都市埋蔵文化財発掘調査報告書 第1集	北水戸(きたみと)地下式墳・ 金倉上(かねくらうえ)地下式 墳・寺原(てらはら)第1遺跡 ・上野(うえの)遺跡	古墳	古墳	西都市教委
9	県道延岡・西都線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 橋北尾刷遺跡	徳北尾畑(ほきたおぼたけ) 遺跡	古墳	古墳	宮崎県教委
10	新名川小規模河川改修事業に伴う埋蔵文化財調査報告書 保木下遺跡	保木下(ほきのした)遺跡	弥生 中世	水田址	宮崎県教委
11	宮崎学園都市埋蔵文化財発掘調査概報(V)	前原北(まえはらきた)遺跡 今江城(いまえじょう)跡	弥生 中世	集落 城址	宮崎県教委
12	宮崎県文化財調査報告書 第29集	東平下1号円形周溝墓(ひがしひらした)・九塚地下式横穴墓群(ここのつづか)石神(いしがみ)遺跡	弥生 古墳	古墳	宮崎県教委
13	西都市・遺跡詳細分布調査報告書	—————	各時代	—————	西都市教委
14	えびの市遺跡詳細分布調査報告書	—————	各時代	—————	えびの市 教委
15	吉村第二土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	浮ノ城(うきのじょう)遺跡	弥生	水田址	宮崎市教委
16	国富町文化財調査資料 第4集	井水(いのみ)地下式横穴墓群 市の瀬(いちのせ)地下式横穴 墓群 上の原(かみのはら)遺跡	弥生 古墳	古墳	国富町教委
17	新富町文化財調査報告書 第4集	新田原(にゅうたばら)遺跡 瀬戸口(せとぐち)遺跡 駿嶺(くらぞの)地下式横穴墓	弥生 縄文 古墳	集落 築石遺構 古墳	新富町教委

宮崎県文化財調査報告書

第30集

昭和62年3月

発行 宮崎県教育委員会

編集 宮崎県教育庁文化課